

コンピュータ西暦2000年問題への対応について

盛岡市では、コンピュータ西暦2000年問題に対処するため、「対応指針」を定め、市が保有するコンピュータシステムや一般設備等の総点検、模擬テストを実施したほか、今後、何らかの要因により、システム等に障害が生じたことによる市民生活への影響を最小限に食い止めるための措置を盛り込んだ「危機管理計画」を策定した。

1 経過

- (1) H11. 5.27 盛岡市コンピュータ西暦2000年問題対応指針を策定。
盛岡市コンピュータ西暦2000年問題対策本部を設置。
- (2) H11. 6. 3 第1回対策本部会議を開催。総点検・模擬テストの実施と危機管理計画の策定方針を指示。
- (3) H11.10.15 市のホームページに2000年問題の情報掲載。
- (4) H11.10.19 第2回対策本部会議を開催。危機管理計画原案の協議。

2 対応の結果

- (1) 総点検 平成11年9月末までに100%終了
- (2) 模擬テスト 平成11年10月13日までに100%終了
- (3) 危機管理計画 平成11年10月29日策定

3 危機管理計画の内容

- (1) 計画の期間 平成11年11月1日から問題が収束したと判断される日まで
- (2) 問題発生予想日
平成11年12月31日、平成12年1月1日、同4日、同31日
平成12年2月29日、平成12年3月31日
- (3) 計画の範囲 ①市が保有するコンピュータシステムに起因するものから、②地域住民に発生した問題までを範囲とする。
- (4) 問題発生への対応
① 市が保有するコンピュータシステムに起因する問題
主要26業務についての代替行動計画を策定。
② 地域住民に発生した問題
電気、ガス、交通、通信などの障害により市民生活に大きな影響が及ぶ場合の対応として、情報収集、関係機関との連絡、市民への情報提供などに当たる窓口を庁内の関係課に設置。
- (5) 問題発生予想日への対応
問題への迅速な対応を図るための職員の待機態勢。

4 その他

- (1) 広報
・インターネットのホームページ ・広報もりおか ・各マスコミ
- (2) 年末年始に向けた準備
・10月29日に政府が発表した「食料、飲料水、石油などの適度の備蓄など」についての情報提供

↓
水道部 131 夜 98名
止みおろす 平作業 362人